

マツダファン・エンデュランス参加者各位

ビースポーツ・マツ耐事務局（B-Sports）

**2020 マツダファン・エンデュランス（マツ耐）
車載カメラ映像のインターネット配信に関する違反行為への
B-Sports ペナルティ公示**

マツダファン・エンデュランス（マツ耐）では、B-Sports ブルテン No.MFE2020-11（車載カメラ映像のインターネット配信について）により、限定した条件での配信を許可しているが、その規定に反する配信行為が認められたため、当該違反者に B-Sports ペナルティを科すことを決定した。

2020 マツダファン・エンデュランス（マツ耐）競技規定 第 22 条に則り公示する。

記

<競技大会>

マツダファン・エンデュランス（マツ耐）第 6 戦 岡山ラウンド
11 月 22 日（日） 岡山国際サーキット

<ペナルティ対象チーム／代表者／違反内容／罰則>

- ・車両 : #52 おやじ倶楽部 CX-5（オープン 6G NORMAL クラス）
- ・代表者 : 北田 辰男
- ・違反内容 : B-Sports ブルテン No.MFE2020-11 違反
- ・罰則 : 当該チームの 2020 年度シリーズポイントの最終有効得点から 100 点を減点する

<補足>

◇過去、参加者が搭載する車載カメラ映像を参加者自身がインターネットで配信することは、様々な権利関係をクリアすることが困難であるため、原則禁止としてきた。
しかし、多くの参加者の要望に応え、長い時間をかけて、多くの関係者の理解を得られたことで、ようやく今年から条件付きで解禁できるようになった経緯があり、それを無にする今回の行為は大変悪質である。

また、ヘルメット製造者および国際モータースポーツ競技規則で認めた方法を除き、競技に使用するヘルメットに対する一切の改造、加工は禁止されており、本来は許可されない、ヘルメットにカメラを装着した映像を流していることも確認されており、当日に判明していれば安全義務違反にもなり得る行為であり、それを当然のように公開することも本競技会のみならず、モータースポーツ競技全般の安全性への信頼を失墜させる行為でもある。

なお、今回のような違反行為が続く場合には、猶予なく全チームの配信を禁止し、違反チーム、そのドライバーならびに車両には、出場停止以上のペナルティを科すことも検討する。

以上